



学校では、これまでも学校行事や

特色ある学校づくりの
推進について

『ふおれすと鉱山』の自然 体験型環境教育プログラム

- 感性を伸ばす活動
- 野外技術の習得
- 原体験をつくる活動
- ガイド付き散策（ガイドウオーク）
- 自然観察と生態系の概念を学ぶ活動
- 自然を題材にしたクラフト・芸術活動
- アウトドアスポーツ・アドベンチャー活動
- 人間関係トレーニング活動
- 体験型環境保全活動
- 講義型
- セルフガイドシステム



4月にオープンした『ふおれすと鉱山』

市内小・中学校の特色ある教育活動

登別温泉 小学校	同校には、オニッコ・マーチング・バンドの活動があります。日々の練習やさまざまな場面で表現活動を通して、子どもたちは力を付けています。11月には一年間の集大成ともいふべき定期演奏会を行っています。	鷺別小学校	コンピューターや地域人材の積極的活用を図り、『人と人』『人と自然』の2点から身近な環境についての学びを深めていきます。さらにその姿を年2回の『ひなわしデー』（地域参加型参観日）で発表します。
登別小学校	同校は、地域を『屋根のない学校』ととらえ、地域社会の協力を得て、地域の自然や地域の方々とのふれあいを通して『ふるさと登別』の良さを知り、心と体と知恵を存分に発揮して生き生きと活動する子どもの育成を目指しています。	登別温泉 中学校	同校には登別温泉の文化があります。鬼みこしと熊舞は郷土・伝承文化で地域に生きる教育です。全教育活動において生徒23名の自己実現を図り、温泉の方や自然、地域素材に積極的に関わり『ふるさと未知への大紀行』を展開していきます。
幌別東 小学校	最大のイベントは『東小まつり』。1つのテーマで面白く表現し、地域の人や保育所の子どもと遊び、ゲームやレクリエーションで交流。さらに子供会行事『海浜運動会』『クリスマス会』など地域ぐるみの参加と協力でふるさと体験を重視した活動を展開していきます。	登別中学校	2年生が『自己を見つめ直し、目標に向かって成長しよう!』と、思いを新たに、中学校生活にけじめをつける『立志式』を行っています。壇上で一人ひとりが『過去の自分を捨て、新しい自分になる決意を表明する姿』はさすがに感動的です。
幌別小学校	道徳教育の充実を目指し、特に、生命の尊重、他人を思いやる優しい心の育成を全教育活動の中に位置付け、心を育むことを重視していきます。また、日課表の創意工夫（毎朝10分間の読書時間の設定など）により読書活動の充実を図っていきます。	幌別中学校	生徒の学習要求に基づき、選択教科を最大限に広げました。また、総合的な学習の時間などを利用して、全校生徒にコンピューター操作をマスターさせています。複数教員による授業を行い、一人ひとりに確かな学力を身につけさせます。
幌別西 小学校	総合的な学習の時間を『西小タイム』と呼称し、町内会との幌別川の清掃や在日外国人の方との交流会、地域のアイヌ文化調査を基にした資料館づくり、ボランティア体験など、地域を軸とした学習活動に取り組んでいきます。	西陵中学校	総合的な時間を『西陵GS』と呼称し、『身近な自然』『社会福祉』『進路』をテーマに、学年ごとに『知る』『深める』『働きかける』のサイクルを見通し、地域から学び、地域を担う人を育てることをねらいとした活動を進めていきます。
富岸小学校	豊かな地域の自然や文化を生かし、地域の方々との出会いを軸にした心はずむ活動『とんとんタイム』の推進と算数科の研修を進め、基礎・基本の定着を図ります。	緑陽中学校	全ての生徒がコンピューターを操作できるように指導していきます。また、地域の菊花好友会の協力をいただき、2年生が菊作りに挑戦します。学校祭では、例年通り全学級が質の高い壁新聞を目指し、力作を発表します。
青葉小学校	青葉の森を生かした自然体験中心の総合学習、音声言語・歌唱・身体表現などで青葉の森の四季を表現する『ベガサス集会』に向けての活動、冬のスケート学習などを通して、子どもたちに豊かな知力・体力・心を育てています。	鷺別中学校	基礎基本の定着（朝のホームルーム後、全校一斉に基礎学習の時間を創設）
若草小学校	『地域の先生』や地域の自然（ぼんず山【通称】・鷺別川など）を活用した学習に取り組んでいます。ボランティア活動は、ブルトップを収集し車椅子に交換したり、近所の公園の清掃活動をしています。また、全校的には異学年交流活動を展開しています。		心の教育の充実（総合的な学習の時間における福祉・ボランティア活動などの教育課程への位置付け） 豊富な選択教科（2年生7教科8コース、3年生8教科11コース）